

1. 科目名 (単位数)	社会福祉原論	3. 科目番号	SSMP1103 SBMP1103
2. 授業担当教員	吉田 輝美		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	社会福祉入門等の関連科目の履修が望ましい。		
7. 講義概要	社会福祉の原理や理論、福祉政策、福祉サービスの供給体制などについて、概念や理念、歴史的展開などを踏まえて理解する。さらに、社会問題と社会構造の関係や国際比較の視点などを通して、日本の社会福祉の特性や今後のあり方についても考察を深める。		
8. 学習目標	以下について学習し、理解できるようになる。 1 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。 2 社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。 3 社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。 4 福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。 5 福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。 6 福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 7 福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	非定期的な小テスト・レポートを実施する。 レポート課題は授業中に提示する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】最新社会福祉士養成講座4「社会福祉の原理と政策」中央法規。 【参考書】東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	成績評価の規準 7つの目標について関心を高め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度) 7つの目標について学習し、理解することができたか。(知識・理解) 7つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践)・評定の方法 (1) 平常点(授業態度・発表・発言・学習課題など) 40% (2) 課題レポート 30% (3) 定期試験 30% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	本学の基本方針として、学生個人の思考力、創造力、分析能力、問題解決能力等を育成することを重視している。受講生は、これらの目標達成のために、以下の条件を守ることが期待される。 1. この授業は「社会福祉原論」という、福祉専門職にとっては基礎的なものである。したがって、授業中はつねに集中力を保って受講することと、積極的な態度で授業に参加することが期待されている。 2. 授業のための予習を必ずしておくこと。予習してくる教科書のページは、このシラバス、または授業中に指示する。 3. 質問があれば、授業中あるいはオフィスアワーで自ら進んで教師に尋ねること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 4. レポートの提出日を厳守すること。 5. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教師に書面をもって報告すること。 6. 授業中は私語、居眠りをしないこと。また、携帯電話のスイッチを切っておくこと。授業中は教師の許可なく出入りしないこと。		
13. オフィスアワー	オフィスアワーは講義時間の前後で受け付けます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	社会福祉の原理	事前学習	教科書を準備し、シラバスを確認して講義へ臨むこと。
		事後学習	社会福祉とは何か考える。
第2回	社会福祉の歴史を学ぶ視点	事前学習	教科書 p. 16-21 を読む。
		事後学習	社会福祉の歴史を理解する。
第3回	欧米の社会福祉の歴史①	事前学習	教科書 p. 22-28 を読む。
		事後学習	欧米の社会福祉の歩みを理解する。
第4回	欧米の社会福祉の歴史②	事前学習	教科書 p. 28-32 を読む。
		事後学習	欧米の社会福祉の歩みを理解する。
第5回	日本の社会福祉の歴史的展開	事前学習	教科書 p. 34-45 を読む。
		事後学習	日本の社会福祉の歩みを理解する。
第6回	社会福祉の思想・哲学	事前学習	教科書 p. 48-49 を読む。
		事後学習	社会福祉の思想・哲学を理解する。

第7回	社会福祉の理論	事前学習	教科書 p. 60-61 を読む。
		事後学習	社会福祉の理論を理解する。
第8回	社会福祉の論点	事前学習	教科書 p. 70-71 を読む。
		事後学習	社会福祉の論点を理解する。
第9回	社会福祉の対象とニーズ	事前学習	教科書 p. 80-81 を読む。
		事後学習	社会福祉のニーズとは何か整理する。
第10回	現代における社会福祉問題	事前学習	教科書 p. 90-93 を読む。
		事後学習	社会問題を理解する。
第11回	社会問題の構造的背景	事前学習	教科書 p. 100-103 を読む。
		事後学習	福祉問題の構造的背景を理解する。
第12回	社会福祉政策とは何か	事前学習	教科書 p. 110-111 を読む。
		事後学習	社会福祉政策を理解する。
第13回	ニーズ (必要)	事前学習	教科書 p. 134-136 を読む。
		事後学習	ニーズを理解する。
第14回	資源 (リソース)	事前学習	教科書 p. 152-154 を読む。
		事後学習	資源を理解する。
第15回	福祉政策の構成要素	事前学習	教科書 p. 166-169 を読む。
		事後学習	社会福祉法の構成要素を理解する。
第16回	福祉政策の過程と評価	事前学習	教科書 p. 178-183 を読む。
		事後学習	福祉政策の過程と評価を理解する。
第17回	福祉政策と包括的支援の現状	事前学習	教科書 p. 194-196 を読む。
		事後学習	福祉政策と包括的支援を理解する。
第18回	福祉政策と包括的支援の課題	事前学習	教科書 p. 214-215 を読む。
		事後学習	福祉政策と包括的支援の課題を理解する。
第19回	保健医療政策	事前学習	教科書 p. 224-227 を読む。
		事後学習	保健医療政策を理解する。
第20回	教育政策	事前学習	教科書 p. 228-232 を読む。
		事後学習	教育政策を理解する。
第21回	労働政策	事前学習	教科書 p. 239-244 を読む。
		事後学習	労働政策を理解する。
第22回	災害政策	事前学習	教科書 p. 245-251 を読む。
		事後学習	災害政策を理解する。
第23回	福祉供給部門	事前学習	教科書 p. 254-256 を読む。
		事後学習	福祉供給部門を理解する。
第24回	福祉利用過程	事前学習	教科書 p. 272-280 を読む。
		事後学習	福祉利用過程を理解する。
第25回	国際比較の視点と方法	事前学習	教科書 p. 282-285 を読む。
		事後学習	国際比較の視点と方法を理解する。
第26回	福祉政策の動向①	事前学習	教科書を p. 289-294 読む。
		事後学習	福祉政策の動向を理解する。
第27回	福祉政策の動向②	事前学習	教科書 p. 296-300 を読む。
		事後学習	福祉政策の動向①を理解する。
第28回	国際比較の新しい課題	事前学習	教科書 p. 301-303 を読む。
		事後学習	国際比較の新しい課題を理解する。
第29回	これからの社会福祉	事前学習	教科書 p. 320-324 を読む。
		事後学習	これからの社会福祉を理解する。
第30回	まとめと振り返り	事前学習	これまで行われた確認テストのファイルをもってくる。
		事後学習	自己評価し、理解不足のところは知識を補っておく。
期末試験			
15. 実務経験を有する 教員特記事項	市の保健センターや福祉事務所での保健および介護支援の業務のほか、老人施設での生活指導員等の実務経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		